

竹馬会情報紙

ホームページアドレス
http://chikubakai.com

はずみ

CHIKUBAKAI



竹馬会キャラクター
なべムシ君

“福幸の杖” 作り

11月9日(土)河川敷の草刈りの後、ひまわりの茎で杖を作りました。
今年で最後となった泥田バレーに変わって、竹馬会の活動を続けていく一つの取組みとして、3年目となる福島のひまわりづくりですが、その茎で作った杖を一人でも多くの方に使ってもらうことで、震災を風化させず、福島との「絆」がさらに強まればと思います。
新聞に掲載されたことで、早速、読者の方から問い合わせや励ましのお電話を数件いただきました。切り取り時期や乾燥をさらに研究すれば、立派な杖が出来ることを確信しました。



大震災の被災地 忘れない

福島県からヒマワリの種を取り寄せて栽培している、中津市三光佐知地区の地域若しグループ「竹馬会」(佐賀一彦会長・顔写真、70人)が、ヒマワリの茎を材料にして、たづえを作っている。青日本大震災の被災地復興の願いを込め、「福幸のつえ」と名付けた。完成した30本を同地区の老人クラブに配布する予定。つえの使用者が被災地を思い出すことで、震災の風を防ぐことを期待している。

中津の「竹馬会」

思い支える 福幸のつえ



「福幸のつえ」を手に完成を喜ぶ竹馬会のメンバー＝中津市三光佐知地区

福島産の種で栽培 ヒマワリの茎活用

竹馬会はヒマワリを全国で育て、種を福島県に送る「福島ひまわり里親プロジェクト」に賛同。2011年から毎年、NPO法人「チームふくしま」から種を買い取り、地区の畑(約20㍍)で栽培を続けている。
これまで種を取った後は廃棄していた茎の部分を再利用しようと、プロジェクトを通じて交流を築いた福島の市民グループからつえ作りのノウハウを教わった。
9日、メンバー15人が同地区の竹馬会集会所で作業をした。9月に刈り取った後、枝葉を切り落とし乾燥させていた茎の強度を確認。紙やすりで表面を滑らかにした後、ニスを塗って仕上げた。つえは長さ約120㍍、直径約2㍍、重さ約200㍍という軽さが特長。「今後も改良を基に製作を続けたい」と佐賀会長(右)。「福島のヒマワリで作ったつえを多くの人に使ってほしい」と話した。(岡本英明)

日帰り忘年会

今年の忘年会は別府鉄輪温泉の“黒田や”です。

- 日時 平成25年12月1日(日) 9時30分 お宮出発
- 会費 男性 3000円 女性 2000円
- 申込み 11月24日まで事務局に電話、メール等で申込んでください。毎年のことですが、バスの手配、料理の予約がありますので期限厳守でお願いします。



11月9日(土)、今年最後の5回目の河川敷の草刈りを行いました。先にある東九州自動車道の「山国川橋」も繋がりました。



コスモス園のアートの空撮写真です。右から原口のミツキーマウス、小学生のウサギ、そして佐知の福島へのメッセージです。黄色のコスモスが芽が出なかつたため、ひまわりの花びらと「がんばろう! FUKUSHIMA」の文字が現れませんでした。今年の経験を活かせば、来年は必ず成功します。(丸の中は空撮をしたりモンハリ)

今後の予定

- 諭吉マラソン 野菜切り(1000人分)
11月23日(土) 午後7時30分～ 旧相良宅
- 諭吉マラソン 三光総合運動公園
11月24日(日) 午前8時00分 佐知庵集合
- 門松作り お宮、金色温泉2カ所予定
12月22日(日) 午前8時00分 川野さん倉庫集合
※予備日12月23日
- ◇真坂小学校 はずみ鍋貸出し
11月17日(日) 真坂小学校PTA